

北丘小校舎、修繕等計画は

答 大規模改造事業等の計画はしていない



赤嶺 奈津江 議員



問 北丘小校舎大規模改修から約10年経つ。当時の見解では10年に一度修繕等を行い、延命化を図るとしていた。現状と今後の計画はどうなっているか。

教育長 令和3年度の南風原町学校施設等長寿命化計画の策定時に、再度校舎の健全性の調査を行い躯体の強度上の問題は無いと判断した。本計画期間内において大規模改造事業等の計画はしていない。

問 当時の想定より劣化が進んでいるところはないか。

教育長 空調や水回り等の設備面で劣化が進んでいる箇所が見られる。今後計画的に修繕等を実施していく。

問 国との交渉により、早期の建て替え計画を策定することが望ましいと考えるがどうか。

教育長 校舎の耐力度調査の結果、建替えには該当しないとの判定により平成25年から

平成27年の3年間で大規模改造事業を実施した。校舎早期立て替えについて県へ確認したところ、現時点では該当する補助メニューは無いとの回答だった。

ごみ回収処理を問う

問 粗大ごみの対応はどうなっているか。委託は考えているか。

副町長 平成7年度よりワークプラザ南風へ粗大ゴミ回収業務を委託していたが、令和5年度から直営方式での回収へ移行している。課題は会計年度任用職員の確保が難しい場合、正規職員が代わって作業を行っており本来の業務に影響が出ている。委託にするかは検討中である。

問 資源ごみの処理に課題はないか。

副町長 現在、資源ごみの回収・処理業務を受託しているワークプラザ南風の作業場

撤去が決定し、次年度10月以降からの業務受託が困難と申し出があり、それ以後の業者の確保が喫緊の課題となっている。



カゴで出されている資源ごみ

問 指定ごみ袋をバイオプラスチック製にすることで処理負担軽減になる。早期に行うべきだと考えるがどうか。

副町長 資源化物処理工程の作業員負担軽減と、指定ゴミ袋のコスト増に伴う町民負担への影響など、検証が必要である。